

おめでとーございませう 春の叙勲

飯南町から1名の方が春の叙勲を受けられました。

旭日章

五明田 寛美さん(八神)

五明田寛美さんは、昭和36年から昭和48年まで、頼原町議会議員として、豊富な経験と卓越なる識見をもって3期12年にわたり本町の発展に尽力されました。

在職中は、町議会総務常任委員会副委員長、建設経済常任委員会副委員長を歴任。医師確保や企業誘致の促進、県道・町道の改良、昭

和38年の豪雪に際しても対策に尽力されたほか、多方面にわたって地域の発展に貢献されました。



五明田寛美さん(写真右)

第29回日本民謡フェスティバル 妹尾なおみさんが出場

6/26日



妹尾なおみさん
(写真は昨年9月開催の「敬老会」)

安来節大師範の妹尾なおみさん(長谷)が、昨年11月に開催された「出雲追分全国優勝大会」師範の部で優勝したことを受け、6月26日にNHKホールで開催された「第29回日本民謡フェスティバル」に出場しました。
このフェスティバルの様子は、8月28日(日)にNHKで放送される予定です。
妹尾さんは、このほか安来節、正調関乃五本松節、隠岐しげさ節でも全国優勝されています。

夏がやってくる 半夏まつり

7/2土

県内の夏祭りの先陣をきって、飯南の夏の風物詩「半夏まつり」が赤名連担地で開催されました。
この日は朝から雨が降ったりやんだり空模様。それでも、祭が始まる頃には雨も上がり、周辺の駐車場は町内外からの来場者でいっぱいとなりました。



夜空を1千発の花火が彩る



お祭の味を堪能! たくさんの人で賑わう赤名の町



広島県で活動するバンド「the fragment」
写真右から2番目のドラムは地元赤名出身の三上峻平さん

旧赤名JRバス車庫に設けられた特設ステージは、バンド演奏やイソガシンジャーショー、飯南神楽団による「山姥」の演舞、飯南牡丹組による「よさこい」などで盛り上がりみせ、お笑い芸人「永野」によるお笑いライブでは、会場は笑いの渦に包まれていました。
赤名の町に響くドンッ! という音にあわせて色鮮やかな花火が夜空を彩ると、多くの人が空を見上げ、夏の訪れを感じている様子でした。

ホテル舞う志々のまちを歩く いちりナイトウォークラリー

6/25土

約4キロ(二里)の道のりを、クイズやゲームに挑戦しながら歩く夜の大型散歩「いちりナイトウォークラリー」が、さつき会館周辺で開催されました。
今年はお寺をコースの一つに取り入れ、本堂を使ってお寺にちなんだゲームも行いました。約200人の参加者は、友達や家族、隣近所の人たちとチームを組んで、親睦や交流を深めながらコースを巡っていました。



お寺の写真と名前の正しい組み合わせを考えます



みんなでクイズに挑戦!

川沿いではホテルも見られ、参加者やスタッフの目を楽しませていました。

島根電工株式会社から 車椅子を寄贈

6/20月

島根電工株式会社から、障がい者や高齢者が公共施設を利用しやすいようにと、車椅子5台の寄贈を受けました。(島根県に寄贈された200台のうちの5台を飯南町に寄贈)
寄贈された車椅子は、町内の道の駅や公共施設に配置することになっています。



島根電工株式会社飯南出張所の田原善明所長と山崎町長

赤名酒造 海外輸出1000本達成!

6/28火



平成27年11月輸出開始

株式会社赤名酒造製造の日本酒が、海外輸出1000本を達成し、輸出を支援した関係者を迎え、酒づくり交流館で記念式典が開催されました。
式典では、島根県商工労働部産業振興課の中澤信義調整監からの祝辞のほか、輸出先タイの在タイ日本大使館井上崇一等書記官からの祝電が披露されました。
(株)赤名酒造社長の三島崇暁さんは「飯南町の良質な酒米からできる品質の良い日本酒を町内や海外に伝えていきたい」と抱負を語りました。